

平成19年度9月補正予算

主 要 事 業

福 井 県

～ 事業内容の見方について ～

1. 事業名称の先頭に

「**新**」とあるのは、19年度9月補正予算の新規事業です。

「**拡**」とあるのは、19年度9月補正予算において事業内容の拡充を行った事業です。

2. 事業名称の後に

とあるのは、「政策推進枠事業」に該当するものです。

「政策推進枠事業」…「福井新元気宣言」の実現のために、行財政構造改革の推進により生み出す財源で行う事業(ただし施設改修、公共事業関連等を除く。)

共 動

とあるのは、地域住民やボランティアなど県民の皆様と力を合わせ、共に活動する事業です。

電 源

とあるのは、本県等の提案により用途が弾力化した国の電源交付金・補助金を有効に活用して実施する事業です。

元 気 な 社 会

1 未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

独自性ある私立学校の振興

予 算 額
(単位：千円)

私立専修学校施設整備資金利子補給金（総務部）

<債務負担行為>

<28,546>

私立専修学校教育の振興および教育条件の改善のため、20年4月に開設予定の校舎の整備等を目的とした長期借入に対し、利子補給を行います。

補給期間 20年度～29年度

実施主体 (学)青池学園

事業内容 若狭医療福祉専門学校の移転新築、理学療法科の新設

補給率 県1/2 (実施主体1/2)

第一級の文化を子どもたちに

⑧旧県立図書館活用事業（福井子ども歴史文化館整備）（教育庁） 電源

4,700

県有施設である旧県立図書館を活用し、子どもたちが、福井の歴史、福井の先人など郷土文化を学び楽しむ拠点として「福井子ども歴史文化館」を整備します。

事業期間 19年度～21年度

整備場所 福井市城東1丁目（旧県立図書館）

事業内容 19年度 展示内容の検討

3 イキイキ・長生き「健康長寿」

がん医療推進センターの整備

陽子線がん治療施設整備事業（健康福祉部） 電源 554,689

今年度上期に発注を予定していた建築工事の施工業者が決定しなかったため、工事スケジュールを見直すとともに、年度ごとの工事費を変更します。

建築工事スケジュール

	当初計画	変更後計画
建築工事開始	19年7月	20年1月
建築工事終了	21年3月	21年9月
一部治療開始	22年3月	22年9月

継続費（年割額の変更）

	18年度	19年度	20年度以降	合計	継続費設定期間
変更前	0	738,558	6,926,762	7,665,320	18～24年度
変更後	0	183,869	7,481,451	7,665,320	18～25年度
補正額	0	554,689	554,689	0	

5 日本一の安全・安心 （治安回復から治安向上へ）

凶悪化する犯罪の抑止と検挙率のアップ

㊦ポリス・スタンバイ作戦（警察本部） 3,809

県民の体感治安の一層の向上を図るため、コンビニエンスストアの協力のもと、交番を中心とした安心ゾーンを形成するとともに、パトロールの強化により、「目に見える警察官」活動を推進します。

事業内容 コンビニ等に掲示し、交番の存在感を高めるための「交番位置表示シート」の作成
コンビニ等を駐車拠点として実施する警察活動を知らせるための「パトカー活動表示シート」の作成

自然災害から暮らしを守る防災体制の強化

車両購入事業（災害派遣医療チーム用）（健康福祉部） 3,200

災害発生時における緊急医療体制を強化するため、災害派遣医療チームが緊急出動に使用する車両を配備します。

用途 災害派遣医療チーム（医師、看護師等5名）および医療機材の搬送
配備場所 県立病院（1台）

元 気 な 産 業

6 地域を支え世界に広がる福井の産業

小規模企業のセーフティネット

予 算 額
(単位：千円)

小規模事業経営支援事業（合併商工会会館改修費補助）(産業労働部)

6,105

合併商工会の事業推進体制づくりを支援するため、合併に伴う本所事務室の拡張整備等に要する経費に対し補助します。

実施主体 坂井市商工会

補助率 県10/10（ただし、5,000千円を超える部分は1/2）

中小企業再生支援資金に係る損失補償の変更（産業労働部）

<債務負担行為>

<22,500>

国の信用保証制度において、金融機関が一定の責任を負う責任共有制度が導入（19年10月1日から）されることに伴い、再生を目指す中小企業者が「中小企業再生支援資金」を引き続き円滑に利用できるよう、県の損失補償を増額します。

事業内容	県損失補償限度額の変更	(当初予算) 75,000千円	(9月補正後) 97,500千円
	(参考)		
	信用保険の対象範囲	80%	64%
	金融機関の責任範囲	10%	20%
	県の損失補償の範囲	10%	16%

観光客入込数1千万人の実現

「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業（産業労働部）

<債務負担行為>

<50,000>

年度当初から切れ目なく魅力ある新しい旅行商品を生み出し、年間を通した観光客誘致を推進するため、20年度の旅行企画による観光客誘致に必要な経費を支援します。

実施主体 (社)福井県観光連盟

事業内容 公募、選考した旅行企画に基づき1事業者につき50人を超える送客実績に応じ、51人目から助成(1事業者10,000千円上限)

助成単価 旅行企画の内容に応じ(ポイント制)

1人当たり1,500~3,000円を助成

元 気 な 県 土

8 高速交通時代のにぎわい交流まちづくり

空路、鉄道による都市アクセスの時間短縮

予 算 額
(単位：千円)

⑧空港連絡バス・アクセス改善事業（総合政策部）

6,180

小松空港へのアクセス改善に向け、空港連絡バスの北陸自動車道利用区間を延ばし所要時間を短縮する運行経路の変更と、バス利用の利便性を高めるパークアンドライド用駐車場の整備のための経費を支援します。

実施主体	バス会社
事業内容	運行経路変更のための経費の支援（丸岡IC - 片山津IC利用を福井北IC - 安宅PAスマートICに変更） 福井北IC付近でのパークアンドライド用駐車場整備の支援
支援期間	20年2月～22年3月（予定）
補助率	県10/10
改善効果	所要時間最大約15分短縮（安宅PAスマートIC利用の約5分短縮を含む）

⑨空港ハイウェイ・アクセス改善事業（土木部）

6,000

小松空港に近接した北陸自動車道安宅PAにおいて、20年2月（予定）からETC専用インターチェンジ（スマートIC）が利用可能となることに伴い、石川県等と連携した広報活動を展開し、利用を促進します。

事業内容	安宅PAに、国・石川県が福井方面の出入口のみのETC専用ICを設置し、効果等を検証（20年2月から約6か月間） 福井県、石川県および国が連携して広報PRを行い、利用を促進
改善効果	所要時間約5分短縮（福井市中心部～小松空港）

電車・バスの生活利便性の向上

⑧高校生バス通学利便向上事業（総合政策部）

7,587

高校生の通学バスの利便性を高めるため、遠距離のバス通学が必要な地域において、通学時間帯での増便や高校を巡回するバス等の運行に必要な経費を支援します。

実施主体 バス会社

事業内容 福井市西部地域から福井市内への通学バス
通学に合わせてルートを変更した通学快速便（鮎川線朝夕1便）の増便
池田町から越前市・鯖江市内への通学バス
通学に合わせてルートを変更（池田線）
2市の高校等への巡回バスの運行実験（朝夕1便）
越前町から越前市・鯖江市内への通学バス
バスの増便（武生・越前海岸線1便）
2市の高校等への巡回バス（朝夕1便）・直行バス（1便）の運行実験
補助率 巡回バス・直行バスの運行経費 県10/10
（バスの増便については既存の生活バス路線確保対策事業で支援）

9 原子力の安全・安心と信頼の確保

電源三法交付金・補助金の有効活用

リサイクル研究開発促進交付金（総合政策部）

電源

95,000

リサイクル研究開発施設周辺の地域住民の福祉の向上のため、国のリサイクル研究開発促進交付金により、市町が実施する公共用の施設の整備等を支援します。

実施主体 南越前町

事業内容 今庄小学校建設用地造成・進入路整備事業
今庄365スキー場ゲレンデ整備車購入事業

補助率 国10/10

元 気 な 県 政

1 0 夢と誇りのふるさとづくり

「ふるさと貢献」の促進

予 算 額
(単位：千円)

⑧ 「ふるさと貢献」寄付促進事業（総務部） 共 勤

ふるさとである福井を応援する「ふるさと貢献活動」の一環として、自宅にいながらインターネットで寄付ができるなど、より便利な寄付の手続を整備します。

事業内容 県のホームページに「ふるさと貢献」寄付の窓口を開設
民間インターネットサイトと連携しクレジットカードでの寄付手続を導入

-

行 財 政 構 造 改 革

行財政構造改革を継続（「オプティマム（最適）県庁」の確立）

予 算 額
（単位：千円）

⑧警察署再編整備事業（警察本部）

25,037

「警察署再編プラン」に基づき、平成20年度に再編を行う、丹生警察署と鯖江警察署、今立警察署と越前警察署について、地域住民への広報、庁舎や情報システムの改修等を行います。

事業内容 管轄地域や業務内容等の変更に関するチラシの作成、配布
運転者管理や通信指令の情報管理システム、県警ホームページの改修等